



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2021/11/9 №44

# 八地申 「首都圏における拠点配置体制の 第1号 一部見直し」に関する申し入れ その①

<p><b>【組合】</b> 1. 首都圏における拠点配置体制の成果と課題を明らかにし、今施策に至った経緯と目的を明らかにすること。</p>	<p><b>【会社】</b> 首都圏における輸送影響度や出勤実績を勘案し、拠点配置体制の見直しを行うことで、生産性の向上とコストダウンを図りながら、安全・安定輸送を確保していく。</p>
<p><b>【組合】</b> 2. 拠点配置箇所を一部廃止することで足ロスが発生することから各主管課、各指令、駅へ周知を行い、宿直者や夜間作業者が安全で確実な作業が出来る体制を確立すること。</p>	<p><b>【会社】</b> 必要な周知を行っている。</p>
<p><b>【組合】</b> 3. 夜間作業者の安全・健康確保の観点から夜間早朝時間帯の異常時対応については、設備に起因する輸送影響以外の事象において仮眠時間や休憩時間等の確保が出来るよう配慮すること。</p>	<p><b>【会社】</b> 異常時対応の考え方は、これまでと変わるものではない。</p>
<p><b>【組合】</b> 4. 出勤実績を鑑みて、八王子信号通信技術センターにおける繰り下げ勤務(11:00~19:30)を廃止すること。</p>	<p><b>【会社】</b> 引き続き、必要な体制は確保していく。</p>
<p><b>【組合】</b> 5. 保線職場において早朝時間帯対応の2名体制確保で指定する勤務を明らかにすること。</p>	<p><b>【会社】</b> 引き続き、必要な体制は確保していく。</p>
<p><b>【組合】</b> 6. 保線職場の2名体制確保のための夜勤では、安全パトロールを行い、社員の安全意識の向上と異常時の柔軟な対応を可能な体制とすること。</p>	<p><b>【会社】</b> 引き続き、必要な体制は確保していく。</p>
<p><b>【組合】</b> 7. 異常時対応力のレベルアップに向けて、認定線区の特情も含めた必要な教育と訓練を実施すること。</p>	<p><b>【会社】</b> 引き続き、必要な教育・訓練は実施していく。</p>
<p><b>【組合】</b> 8. 施策実施後、問題が発生した場合には速やかに対応すること。</p>	<p><b>【会社】</b> 施策実施後も状況を見極めていく考えである。</p>

工務職場の仲間の様々な意見  
から団体交渉を行いました!!

その②へ続く~

